

国立極地研究所 南極・北極科学館 見学会 & 講演会

と き：2019年 10月11日（金） 13:30～16:30（受付13:00）

と ころ：国立極地研究所 1Fロビー集合

〒190-8518 東京都立川市緑町10-3

参加費無料

「南極・北極科学館」 見学会 ～南極の氷、隕石にさわれる～

極地研の展示施設「南極・北極科学館」の見学会を行います。極地研の取り組みと成果を、見て、触れて、体感してください。



写真提供：国立極地研究所

極地研の紹介 ～南極観測隊だけじゃない 極地研のさまざまな活動～



オーロラに代表される宙空圏の研究、極域から探る気候・環境システム、地球の地質・地形の歴史解明、極域に棲む生き物の調査研究、極地観測を支援するテクノロジーの研究開発など、さまざまな領域で活躍しています。

講師：国立極地研究所 広報室長 研究教育系
地圏研究グループ・教授 本吉洋一氏

講演会

～ 極地研の研究成果のなかで今最も注目の
キーワード「チバニアン」のテーマで講演！～

最近、千葉の地層（千葉セクション）が、地質時代の一つである第四紀更新世の前期・中期境界の国際模式地の候補として注目を集めています。「千葉セクション」の長所は、約77万年前の地磁気逆転の記録がとても詳細に調べられていることです。もし千葉セクションが国際模式地として認められると、この境界に続く時代が「千葉の時代」という意味のチバニアンと名付けられます。

今回の講演では、菅沼先生ご自身の研究体験、とくに地磁気逆転研究の視点を通して、千葉セクションの国際模式地認定への展望をお話いただきます。



演題：「地質時代に日本の地名が刻まれるか？」
～千葉時代（チバニアン）国際模式地認定への展望～

講師：国立極地研究所 研究教育系
地圏研究グループ 准教授 菅沼悠介氏